

野間秀樹 | 研究業績一覧

●2026年2月9日現在

●目次

1. 著書 p.1 2. 論文 p.4 3. その他の著作 p.8 4. 対談・インタビュー記事など p.11
 5. 学会発表・講演 p.11 6. 公的資金による研究 p.18
 7. 現代美術の分野における活動 p.18

著書

■ 1. 著書 -----

■ 1.1 著書 [単著] -----

- 1) 『길 朝鮮語への道』
1988年4月発行. 総243頁. 東京:有明学術出版社
- 2) 『〈朝鮮語への道〉準拠 練習問題集』
1989年1月発行. 総62頁. 東京:アジア学生文化協会
- 3) 『朝鮮語分類基礎語彙集』
野間秀樹編 1998年3月27日発行. 東京:東京外国語大学語学教育研究協議会.
- 4) 『暮らしの単語集 韓国語』
1999年6月18日発行 総416頁. 東京:ナツメ社. ISBN 4-8163-2551-4
- 5) 『至福の朝鮮語』, 『新・至福の朝鮮語』
2000年5月16日発行 総296頁. ISBN 4-255-00026-3 C0087
2007年5月1日初版. 2007年10月10日第2版. 総297頁. 東京:朝日出版社
- 6) 『한국어 어휘와 문법의 상관구조』 (韓国語 語彙と文法の相関構造)
노마 히데키 [野間秀樹] 著. 서울(ソウル): 태학사(太学社).
2002年2月20日発行. 総444頁. ISBN 89-7626-742-7.
*大韓民国学術院 2003年優秀学術図書
- 7) 『絶妙のハングル』
2007年2月15日発行. 東京:日本放送出版協会. 総192頁. ISBN 978-4-14-039452-6.
- 8) 『ハングルの誕生——音(おん)から文字を創る』 2010年5月15日発行. 総369頁. 東京:平凡社.
ISBN 978-4-582-85523-4.
*第22回アジア・太平洋賞大賞受賞. *日本図書館協会選定図書
- 9) 『한글의 탄생 ——〈문자〉라는 기적』 (ハングルの誕生——〈文字〉という奇跡)
노마 히데키 [野間秀樹] 著. 金珍娥・金奇延・朴守珍共訳. 坡州(坡州, ハンジュ): 돌베개(トルベゲ).
2011年10月9日初版第1刷発行. 10月20日初版第2刷発行. 12月23日4刷発行. 2012年6月20日8刷発行. 総448頁. ISBN 978-89-7199-444-3
*「東亜日報」2011年〈今年の本〉に選定. 「朝鮮日報」2011年〈今年の本〉に選定. 教保文庫 2011年〈今年の本〉に選定.
- 10) 『日本語とハングル』 2014年4月20日発行. 総239頁. 東京:文藝春秋.
ISBN 978-4-16-660973-4.
- 11) 『韓国語をいかに学ぶか——日本語話者のために』 2014年6月13日発行. 総371頁.
東京:平凡社. ISBN 978-4-582-85737-5.
- 12) 『言語存在論』 2018年11月15日発行. 総447頁.
東京:東京大学出版会. ISBN 978-4-13-086054-3.

- 13) 『史上最強の韓国語練習帖 超入門編』 2021年2月1日発行. 総128頁.
東京:ナツメ社. ISBN 978-4-8163-6944-5.
- 14) 『言語 この希望に満ちたもの——TAVnet 時代を生きる』 2021年7月1日発行. 総350頁.
札幌:北海道大学出版会. ISBN 978-4-8329-3413-9.
- 15) 『新版 ハングルの誕生——人間にとって文字とは何か』 2021年9月21日発行. 総461頁.
東京:平凡社. ISBN 978-4-582-76922-7.
- 16) 『한글의 탄생 — 인간에게 문자란 무엇인가』 (개정증보판)(ハングルの誕生——人間にとって文字とは何か)
노마 히데키 [野間秀樹] 著. 朴守珍・金珍娥・金奇延共訳. 과주(坡州^{ハジュ}): 돌베개(トルベゲ).
2022年10月9日初版第1刷発行.
- 17) 『K-POP 原論』 2022年12月1日発行. 総426頁.
京都:ハザ. ISBN 978-4-910751-01-6.
- 18) 『図解でわかる ハングルと韓国語』, 2023年8月23日発行. 総128頁.
東京:平凡社. ISBN 978-4-582-83906-7.
- 19) “K-POP 원론— 말, 소리, 빛, 신체성이 어우러진 21세기형 종합예술”,
2024年9月30日発行. 総712頁.
양평: 연립서가. ISBN 979-11-93598-02-3 (03670).

■ 1.2 著書 [単編単著; 単編共著; 単編共同執筆] -----

- 1) 『韓国語教育論講座 第1巻』
2007年4月25日. 総727頁. 東京:くろしお出版. 野間秀樹編著. ISBN 978-4-87424-374-9
- 2) 『韓国語教育論講座 第4巻』
2008年1月25日. 総817頁. 東京:くろしお出版. 野間秀樹編著. ISBN 978-4-87424-410-4
- 3) 『韓国語教育論講座 第2巻』
2012年10月15日. 総851頁. 東京:くろしお出版. 野間秀樹編著. ISBN 978-4-87424-566-8
- 4) 『韓国・朝鮮の知を読む』
2014年2月20日. 総592頁. 東京:クオン. 野間秀樹編. ISBN 978-4-904855-18-8
*2014年, 関記念財団より第12回パピルス賞受賞.
- 5) 『한국의 지를 읽다』(15の韓国語版)
2014年10月10日. 総752頁. 고양:위즈덤하우스. 노마 히데키 [野間秀樹]編. 김경원訳.
ISBN 978-89-6086-731-4 03000
- 6) 『韓国語教育論講座 第3巻』
2018年1月30日. 東京:くろしお出版. 野間秀樹編著. ISBN978-4-87424-754-9

■ 1.3 著書 [共著] -----

- 1) 『朝鮮語を学ぼう』
1987年10月発行. 菅野裕臣他と共著. 総342頁. 東京:三修社. ISBN 4-384-01506-2
- 2) 『コスモス朝和辞典』
1988年11月10日. 菅野裕臣他と共著. 総1053頁. 東京:白水社. ISBN 4-560-00096-4
- 3) 『朝鮮語初級読本』
朝鮮語学科研究室編 (菅野裕臣他と共編). 1990年3月. 総352頁.
東京:東京外国語大学語学教育研究協議会

- 4) 『朝鮮語文体範例読本』
朝鮮語学科研究室編. 1992年3月 (菅野裕臣他と共編). 総379頁.
東京:東京外国語大学語学教育研究協議会
- 5) 『ハンゲル学習の手引き』
ハンゲル能力検定試験出題基準検討委員会. 油谷幸利・朴宰秀・野間秀樹・曹喜澈・呉文淑・金珍娥共編著.
2002年10月9日発行. 総164頁. 東京:ハンゲル能力検定協会発行. ISBN 4-938758-90-3.
- 6) 『ぷち韓国語』
野間秀樹・村田寛・金珍娥著. 2004年7月20日発行. 総283頁. 東京:朝日出版社.
ISBN4-255-00286-X.
- 7) 『NHK ラジオアンニョンハシムニカハンゲル講座 応用編』
(入門編)増田忠幸・(応用編)野間秀樹著. 2004年7月号-9月号, 2005年7月号-9月号.
東京:日本放送出版協会.
- 8) 『Viva! 中級韓国語』
野間秀樹・金珍娥著. 2004年10月1日発行. 総323頁. 東京:朝日出版社.
ISBN 978-4-255-00289-7, ISBN 4-255-00289-4.
- 9) 『はばたけ! 韓国語』
野間秀樹・村田寛・金珍娥著. 2007年4月1日発行. 総215頁. 東京:朝日出版社. ISBN 978-4-255-55604-8
- 10) 『ニューエクスプレス韓国語』
野間秀樹・金珍娥著. 2007年11月20日. 総160頁. 東京:白水社. ISBN 978-4-560-06782-6
- 11) 『さらさら韓国語』
野間秀樹・金珍娥・中島仁・須賀井義教著. 2010年6月30日. 総237頁. 東京:同学社.
ISBN 978-4-8102-0268-7
- 12) 『韓国語学習講座 凜(RIN) 1 入門』
野間秀樹編, 野間秀樹・金珍娥著. 2012年9月30日発行. 総262頁.
東京:大修館書店. ISBN 978-4-469-14244-0
- 13) 『はばたけ! 韓国語 2 初中級編』
野間秀樹・金珍娥・高槿旭著. 2018年3月30日発行. 東京:朝日出版社. 総265頁, 別冊解答集42頁.
- 14) 『はばたけ! 韓国語 ライト版 1』
金珍娥・野間秀樹・村田寛著. 2022年1月30日発行. 総217頁. 東京:朝日出版社. ISBN 978-4-255-55691-8
- 15) 『史上最強の韓国語練習帖 初級編』
野間秀樹・高槿旭著. 2022年7月6日発行. 総128頁. 東京:ナツメ社. ISBN 978-4-8163-7218-6
- 16) 『はばたけ! 韓国語 ライト版 2』
金珍娥・野間秀樹・村田寛著. 2023年1月30日発行. 総101頁. 東京:朝日出版社. ISBN 978-4-255-55704-5
- 17) 『ユアと韓国語 上級』
金珍娥・野間秀樹. 2025年3月25日発行. 総336頁. 東京:くろしお出版. ISBN 978-4-8011-1006-9
- 18) 『ユアと韓国語 入門』
金珍娥・野間秀樹. 2026年2月10日発行. 総190頁. 東京:くろしお出版. ISBN 978-4-8011-1031-1

■ 1.4 著書 [共編;共同執筆] -----

- 1) 『韓国・朝鮮の美を読む』
2021年3月25日. 総349頁. 東京:クオン. 野間秀樹・白永瑞編. ISBN 978-4-910214-19-1
- 2) 『한국의 미(美)를 읽다』
2023年12月30日. 総544頁. 京畿道양평군:연립서가. 최재혁, 신승모 訳.
노마히데케[野間秀樹]・백영서[白永瑞]編. ISBN 9791197758690
- 3) 『韓国・朝鮮の心を読む』
2025年3月25日. 総514頁. 東京:クオン. 野間秀樹・白永瑞編. ISBN 978-4-910214-65-8
- 4) 『한국의 마음을 읽다』
2023年12月30日. 総740頁. 박제이訳. 독개비. 노마히데케[野間秀樹]・백영서[白永瑞]編.
ISBN 9791199186309

■ 1.5 監修書 -----

- 1) (野間秀樹監修) 『イージーハングル』 ユン・ソナ著.
2002年9月18日. 東京:学習研究社. ISBN 4-05-401810-6.
- 2) (野間秀樹監修) 『韓国語アップグレード もぎたてのソウルマル』 中西恭子著.
2004年2月. 東京:明石書店. ISBN 4750318663
- 3) (野間秀樹監修) 『朝鮮半島の文字「ハングル」と言葉』『世界の文字と言葉入門』シリーズ.
こどもくらぶ著. 2004年4月. 東京:小峰書店. ISBN 433819703X
* 全国学校図書館協議会選定図書
- 4) (野間秀樹監修) 『韓国語文法辞典』 白峰子著.
大井秀明訳. 2004年9月10日発行. 総537頁. 東京:三修社. ISBN 4-384-00224-6
- 5) (野間秀樹監修) 『NHK テレビ アンニョンハシムニカ ハングル講座』 金珍娥著.
放送:NHK 教育テレビ 2005年4月-2006年3月. テキスト:東京:日本放送出版協会.
- 6) (野間秀樹監修) 『韓国語用言—活用と用例』 金美仙著.
総242頁. 2006年11月発行. 東京:三修社. ISBN 978-4384054590
- 7) (野間秀樹監修) 『ドラマティック・ハングル—君, 風の中に』 金珍娥著.
2012年4月10日. 総301頁. 東京:朝日出版社. ISBN 978-4-255-00639-0

論文

2.研究論文 -----

■ 2.1. 修士論文 [単著] -----

- 「〈할것이다 harges'ida〉の研究—現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」
東京外国語大学大学院. 1989年3月

■ 2.2.論文[* 印以外は全て単著]-----

- 1) 「〈하겠다 hageissda〉の研究—現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」
『朝鮮学報』129輯 pp.1-73(総73頁) 朝鮮学会 1988年10月
- 2) 「〈할것이다 harges'ida〉の研究—再び現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」
『朝鮮学報』134輯 pp.1-64(総64頁) 朝鮮学会 1990年1月
- 3) 「現代朝鮮語の名詞分類—語彙論・文法論のために」

- 『朝鮮学報』135 輯 pp.1-59(総 59 頁) 朝鮮学会 1990 年 4 月
- 4)「朝鮮語のオノマトペ——擬声擬態語の境界画定、音と形式、音と意味について——」
『学習院大学言語共同研究所紀要』第 13 号(1990)pp.24-47(総 24 頁)
学習院大学言語共同研究所 1991 年 7 月
- 5)「朝鮮語のオノマトペ——擬声擬態語と派生・単語結合・シンタックス・テキストについて——」
『学習院大学言語共同研究所紀要』第 14 号(1991)pp.75-88(総 14 頁)
学習院大学言語共同研究所 1992 年 7 月
- 6)「現代朝鮮語の対格と動詞の統辞論」
『言語研究Ⅲ』pp.77-168(総 92 頁) 東京外国語大学語学研究所 1993 年 3 月
- 7)「現代韓国語의 接續形〈-다가〉에 對하여——aspect・taxis・動詞分類——」
(現代朝鮮語の接續形〈-daga〉について——aspect・taxis・動詞分類——)
『朝鮮学報』149 輯 pp.1-62(総 62 頁) 朝鮮学会 1993 年 10 月
- 8)「現代朝鮮語の語彙分類の方法」
『言語研究Ⅳ』pp.45-68(総 24 頁) 東京外国語大学 1994 年 3 月
- 9)「바람직한 한국어 교재란?——일본어 화자의 경우」(望ましき朝鮮語教材とは?——日本語話者の場合)
『語学研究所論集』第 1 号 pp.51-81(総 31 頁). 東京外国語大学語学研究所 1996 年 3 月
- 10)「한국어 문장의 계층구조」(朝鮮語の文の階層構造)
《언어학'en'ehag》(言語学) pp.133-180(総 48 頁) 서울(ソウル): 한국언어학회(韓国言語学会). 1996 年 12 月
- 11)「한국어의 대우법 체계」(現代朝鮮語の待遇法体系)
《말 mar》第 21 輯 pp.15-54(総 40 頁). 서울(ソウル): 延世대학교 延世語学院 韓国語学堂 1996 年 12 月
- 12)「1980 년대 이후 일본에서의 현대 한국어 문법론, 어휘론 연구: 언어 사실주의의 전개」
(1980 年代以降の日本における現代朝鮮語文法論・語彙論研究——言語事實主義の展開)
《韓國文化》18 pp.73-109(総 37 頁). 서울(ソウル): ソウル대학교 韓国文化研究所 1996 年 12 月
- 13)「朝鮮語と日本語の連体修飾節(冠形節)構造」
『朝鮮文化研究』第 4 号 pp.100-128(総 29 頁). 東京大学文学部 朝鮮文化研究室 1997 年 3 月
- 14)「朝鮮語の文の構造について」
『国立国語研究所報告 日本語と朝鮮語の対照研究 3 日本語と朝鮮語』
pp.103-138(総 36 頁) 国立国語研究所(くろしお出版発売) 1997 年 6 月
- 15)「한국어 모어 화자의 일본어 피치악센트 교육을 위하여」(韓国語母語話者の日本語ピッチアクセント教育のために)
『韓日語文学論叢』梅田博之教授古稀記念論叢刊行委員会編
pp.651-675(総 25 頁). 서울(ソウル): 太学社. 2001 年 4 月 24 日
- 16)「일본어권 한국어 교사의 기본조건」(日本語圏韓国語教師の基本条件)
《국어교육연구》(国語教育研究) 제 9 집. pp.39-67(총 29 頁). 서울(ソウル): 서울대학교 국어교육연구소(ソウル대학교 国語教育研究所) 2002 年 3 月 30 日
ISSN1227-8823
- 17)「한국어 단어 결합론의 심화를 위하여」(韓国語単語結合論の深化のために)
《국어학 gug'ehag》(国語学) 제 39 집. pp.361-396(총 36 頁). 國語學會編.
서울(ソウル): 太学社發行 2002 年 6 月 30 日.
- 18)「한국어 문법 교육의 새로운 전개를 위하여」(韓国語文法教育の新たな展開のために)
《외국어로서의 한국어 교육》(外国語としての韓国語教育) 제 27 집.(第 27 輯). pp.83-101(총 19 頁). 서울(ソウル)

- ル): 연세대학교언어교육원 한국어학당(延世大学校言語研究教育院韓国語学堂). 2002年12月31日.
- 19) ‘일본어모어화자학습자를위한한국어기초학습어휘선정과정제시방법’
(日本語母語話者学習者のための韓国語基礎学習語彙選定と提示方法)
《한국어교육과학습사전》(韓国語教育と学習辞典). pp.133-157(總 25頁).
서울(ソウル): 연세대학교언어정보개발연구원(延世大学校言語情報開發研究院). 서울(ソウル): 한국문화사(韓國文化社)刊. 2001年10月.
- 20) ‘일본대학대학원의한국어교육’(日本の大学の大学院における韓国語教育)
《한국어교육》제14권2호.2003年9月.pp.83-106.서울(ソウル): 국제한국어교육학회(國際韓国語教育学会 IAKLE)
- 21) 「朝鮮語母語話者の日本語ピッチアクセント教育のために」
『韓国語母語話者の日本語音声研究論文集』pp.57-71(總 15頁).2003年3月31日. 東京外国語大学外国語学部鮎澤研究室
- 22) Noma(2005) When Words Form Sentences; Linguistic Field Theory: From Morphology through Morpho-Syntax to Supra-Morpho-Syntax.
"Corpus-Based Approaches to Sentence Structures. "Usage-Based Linguistic Informatics 2. Edited by Toshihiro Takagaki, Susumu Zaima, Yoichiro Tsuruga, Francisco Moreno-Fernández and Yuji Kawaguchi. pp.51-75(總 25頁).Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins. 2005年4月.
- 23) 「韓国と日本の韓国語研究—現代韓国語の文法研究を中心に—」
『日本語学』2005年7月号. vol.24.no.8.pp.16-31.東京: 明治書院
- 24) * 나카지마히토시(中島仁)と共著. ‘일본의한국어교육’(日本の韓国語教育)
《한국어교육론 1》(韓国語教育論 1). 국제한국어교육학회編. pp.195-221(總 27頁).2005年6月30日. 서울(ソウル): 한국문화사(韓國文化社)
- 25) * 나카지마히토시(中島仁)と共著. ‘일본의한국어교재’(日本の韓国語教材)
《한국어교육론 3》(韓国語教育論 3). 국제한국어교육학회編. pp.263-298(總 36頁).
2005年6月30日. 서울(ソウル): 한국문화사 hangugmunhoasa(韓國文化社)
- 26) ‘단어가문장이될때:언어장이론-형태론에서통사론으로,그리고초형태통사론으로’(単語が文となるとき: 言語場理論—形態論から統辞論へ,そして超形態統辞論へ)
“Whither Morphology in the New Millennium?
21세기형태론어디로가는가?”(『21世紀形態論, 이즈こへ』)pp.89-121(總 33頁). eds.Youn-Kun Ko, et al. Seoul: 박이정 Pagijong Press. 2006年4月25日.
- 27) ‘현대한국어의용언의분석적인형태에대하여’(現代韓国語の用言の分析的な形について)
“Whither Morphology in the New Millennium?
21세기형태론어디로가는가?”(『21世紀形態論, 이즈こへ』)pp.297-318(總 22頁). eds.Youn-Kun Ko, et al. Seoul: 박이정 Pagijong Press. 2006年4月25日.
- 28) 「現代朝鮮語의丁寧化의마커-yo/-iyo について」
『朝鮮學報』第199輯・200輯合併号. pp.37-81(總 45頁). 2006年7月. 天理: 朝鮮學會.
- 29) * 金珍娥共著. 「NHK(일본방송협회)텔레비전교육방송을 통한한국어교육(NHK(日本放送協會)テレビ教育放送による韓国語教育)」
『한국어교육(韓国語教育)』제17권2호.2006년8월1일.pp.95-134(總 40頁).서울(ソウル): 국제한국어교육학회(國際韓国語教育学会)
- 30) 「試論:ことばを学ぶ根拠はどこに在るのか—韓国語教育の視座—」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.1-50(總 50頁). 2007年4月25日発行.
東京: くろしお出版
- 31) * 中島仁と共著. 「日本における韓国語教育の歴史」

- 『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.69-93(総25頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 32)「音声学からの接近」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.221-255(総35頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 33)「音韻論からの接近」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.257-277(総21頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 34)「形態音韻論からの接近」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.279-329(総51頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 35)「動詞をめぐって」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.489-520(総32頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 36)「言語存在論試考序説 I—言語はいかに在るか—」
『韓国語教育論講座第4巻』野間秀樹編著. pp.321-353(総33頁). 2008年1月25日発行.
東京:くろしお出版
- 37)「言語存在論試考序説 II—言語を考えるために—」
『韓国語教育論講座第4巻』野間秀樹編著. pp.355-400(総46頁). 2008年1月25日発行.
東京:くろしお出版
- 38)「韓国語学のための文献解題—現代韓国語を見据える—」
『韓国語教育論講座第4巻』野間秀樹編著. pp.515-534(総20頁). 2008年1月25日発行.
東京:くろしお出版
- 39)「音と意味の間に」
『國文學』2008年10月号. 第53巻14号. pp.58-69(総12頁). 東京:學燈社.
- 40)「現代朝鮮語研究の新たなる視座:〈言語はいかに在るか〉という問いから—言語研究と言語教育のために—」
第59回朝鮮学会大会公開講演. 2007-2009年度科学研究費補助金基盤研究(C)報告書.
pp.1-133(総133頁). 東京:東京外国語大学大学院地域文化研究科野間秀樹研究室
- 41)「朝鮮語の教科書が目指すもの」
『外国語教育研究』. 第11号. 2008年11月1日. pp.129-151(総23頁). 東京:外国語教育学会
- 42)노마히데키[野間秀樹]:‘언어를 배우는 〈근거〉는 어디에 있는가—한국어 교육의 시점—’(ことばを学ぶ〈根拠〉)どこにあるのか—韓国語教育の視点—)
“한글”(『ハング
ル』). 282호. 2008년 겨울. 한글학회 창립 100 돌 기념 특집. 2008년 12월 30일. pp.235-
276(総42頁). 서울(ソウル): 한글학회(ハングル学会)
- 43)노마히데키[野間秀樹]:‘대우 표현과 대우법—몇 가지 시각’(待遇表現と待遇法—いくつかの視角)
“한국어 교육 연구”(『韓国語教育研究』). pp.57-
103(総47頁). 2009년 제4호. 大田: 배재대학교 한국어 교육 연구소(培材대학교 韓国語教育研
究所)
- 44)「ハングル—正音エクリチュール革命」
『國文學』2009年2月号. 第54巻2号. 2009年2月10日. pp.46-55(総10頁). 東京:學燈
社.
- 45)「現代朝鮮語研究の新たなる視座:言語はいかに在るかという問いから—言語研究と言語教育のために」
『朝鮮学報』第212輯. pp.1-66(総66頁). 2009年7月. 天理:朝鮮学会.

- 46)「引用論小考」
『朝鮮半島のことばと社会——油谷幸利先生還暦記念論文集』油谷幸利先生還暦記念論文集刊行委員会編. 2009年11月. 東京:明石書店
- 47)「文法論の基礎概念(1)文法基礎論, (2)言語の階層, (3)形態論, (4)文法範疇論, (5)文法論の単位と対象」
『韓国語教育論講座第2巻』野間秀樹編著. pp.7-145(総139頁). 2012年10月15日. 東京:くろしお出版
- 48)「文をめぐる」
『韓国語教育論講座第2巻』野間秀樹編著. pp.199-234(総36頁). 2012年10月15日. 東京:くろしお出版
- 49)「文の階層構造」
『韓国語教育論講座第2巻』野間秀樹編著. pp.235-282(総48頁). 2012年10月15日. 東京:くろしお出版
- 50)「待遇表現と待遇法を考えるために」
『韓国語教育論講座第2巻』野間秀樹編著. pp.521-570(総50頁). 2012年10月15日. 東京:くろしお出版
- 51)「表現様相論からの接近」
『韓国語教育論講座第2巻』野間秀樹編著. pp.649-668(総20頁). 2012年10月15日. 東京:くろしお出版
- 52)「対照言語学的視座と言語教育——今日の日韓対照言語学と日本における韓国語教育から」
『日本語言文化研究第三輯』李東哲・安勇花主編. pp.13-59(総47頁). 2014年6月. 延辺:延辺大学出版社
- 53)「한글의 탄생과 불교사상의 언어——언어존재론적시좌(視座)에서」(ハングルの誕生と仏教思想の言語——言語存在論的な視座から)『불교와한글, 한국어』(仏教とハングル, 韓国語). 서상규편저. pp.3-34(総32頁). 2017年5月30日. 서울:한국문화사(韓国文化社)
- 54)「〈対照する〉ということ——言語学の思考原理としての〈対照〉という方法——」
『韓国語教育論講座第3巻』野間秀樹編著. pp.1-20(総20頁). 2018年1月30日. 東京:くろしお出版
- 55)「ハングルという文字体系を見る——言語と文字の原理論から——」
『韓国語教育論講座第3巻』野間秀樹編著. pp.371-402(総32頁). 2018年1月30日. 東京:くろしお出版
- 56)「〈쓰여진 언어〉의 영광——언어의 원리론에서 한글의 탄생을 비추다」(〈書かれたことば〉の栄光——言語の原理論からハングルの誕生を照らす)
『소리×글자:한글디자인』(音×文字:ハングルデザイン). pp.38-47(総10頁). 2018年6月刊行予定. 韓国語と英語併記. 서울:국립한글박물관(ソウル:国立ハングル博物館).
- 57)「言語の対照研究, その原理論へ向けて:言語存在論を問う」
『社会言語科学』. 第21巻1号. pp.35-51(総17頁). 招待展望論文. 2018年9月. 東京:社会言語学会
- 58)「知のかたち, 知の革命としてのハングル」
『対照言語学研究』. 第26号. (総21頁). 2018年. 東京:海山文化研究所
- 59)「金禮坤『定本 韓国語講座』は何が凄いのか, 何が面白いのか」『定本韓国語講座』.
2024年2月29日. 京都:ハザ

その他の著作

■3.その他の著作[単著]-----

- 1) 「語彙の部屋(1)-(12)」『基礎ハングル』第1巻第1号—第12号. (各号2頁). 東京:三修社.
1985年5月-1986年4月
- 2) 「ハングルの書体」『基礎ハングル』第1巻第2号. pp.46-49(総4頁). 東京:三修社. 1985年6月
- 3) 「朝鮮語のタイプライタ」『基礎ハングル』第1巻第7号. pp.54-57(総4頁). 東京:三修社. 1985年
11月
- 4) 「朝鮮語の擬声語・擬態語」『基礎ハングル』第1巻第8号. pp.48-51(総4頁). 東京:三修社. 1985
年12月
- 5) 「アリランについて」
『TEACHER'S MANUAL/ FIRST English Series II』東京:三省堂 1989年3月
- 6) 「朝鮮語とはどのような言語か」
『TEACHER'S MANUAL/ FIRST English Series』東京:三省堂 1990年3月
- 7) 「故志部昭平博士の研究業績について」
『故志部昭平先生の業績と思い出』東京:朝鮮語研究会 pp.31-37. 1994年8月
- 8) 「일본에서의 한국어 교육」(日本における朝鮮語教育)
“말글생활”(言語生活)第3号 pp.160-171(総12頁). 서울(ソウル):말글社 1995年2月
- 9) 「朝鮮語」
『外国語学がわかる』Aera Mook14 pp.36-37(総2頁). 朝日新聞社 1996年6月
- 10) 「한국어를 알뜰게 잘하는 외국사람을 골탕먹이는 방법서설」(韓国語が憎たらしいほどに上手な
外国人をぎゃふんと言わせる方法序説)
“계간한글사랑”(季刊ハングル愛)第2号 pp.263-267(総5頁). ソウル:한글사
1996年10月
- 11) “일본어 화자의 한국어 학습에 나타나는 발음상의 문제: phonemic unit 와 prosody,
특히 pitch 에 대하여” (日本語話者の朝鮮語学習に現れる発音上の諸問題: phonemic unit と
prosody, とりわけピッチについて)
“SICOPS '96: the first Seoul International Conference on Phonetic Sciences”
(第1回ソウル国際音声学術大会)発表要旨集 pp.268-273(総6頁).
서울(ソウル):大韓音声学会 1996年10月
- 12) 「日本の大学における朝鮮語教育とコンピュータ」『コンピュータ&エデュケーション』. vol.31997.
コンピュータ教育利用協議会(CIEC)会誌. 東京:柏書房. pp.56-59(総4頁) ISBN4-7601-
1564-1
- 13) 「最もオノマトペが豊富な言語」
『月刊言語』1998年5月号. vol.27, No.5 pp.30-34(総5頁)大修館書店 ISSN0287-1696
- 14) 「朝鮮語(韓国語)の手紙」『郵政』1998年7月号 p.13. 東京:郵政弘済会
- 15) 「朝鮮語」『世界の言語ガイドブック2 アジア・アフリカ地域』. 東京外国語大学語学研究所編.
1998年3月10日発行 pp.168-184(総17頁). 東京:三省堂. ISBN4-385-35815-X
- 16) (翻訳)宋敏著「日本語系統論について」『韓国語と日本語のあいだ』
1999年12月15日発行 pp.99-116(18頁). 東京:草風館. ISBN4-88323-113-5 ¥4,800
- 17) 「朝鮮語学ゼミ」『東外大ニュース』no.103.2000年3月24日
p.13(総1頁)東京外国語大学東外大ニュース発行委員会
- 18) (翻訳校閲)『外国人児童生徒のための日本語指導:第5分冊——韓国語(朝鮮語)版文法説明』
東京外国語大学留学生日本語教育センター編翻訳:宋美玲
2001年3月30日発行(総124頁)
- 19) 「オノマトペと音象徴」

- 『月刊言語』2001年8月号.vol.30,No.9.pp.12-18(総7頁)東京:大修館書店 ISSN0287-1696
- 20)「湖がパンチャクパンチャク輝いた——朝鮮語のオノマトペ」
『月刊言語』2001年8月号.vol.30,No.9.pp.54-55(総2頁)東京:大修館書店 ISSN0287-1696
- 21)「韓国ポップスとことば」
『月刊しにか』2001年9月号.vol.12,No.9.pp.114-117(総4頁)東京:大修館書店 ISSN0915-7247
- 22)(翻訳監修)東京外国語大学留学生日本語教育センター編著
『実力日本語単語・文法解説書』(上)韓先熙訳(下)金恩愛訳
発行:アルク. 発売:凡人社 2001年10月1日発行. (総231頁)
(上)ISBN4-89358-477-4(下)ISBN4-89358-488-X
- 23)「5級筆記の講評」「5級聞き取り・書き取りの講評」
『第18回「ハングル」能力検定試験(3級・4級・5級)問題と解答』
pp.130-151,pp.164-170(総28頁). ハングル能力検定協会編著, 発行. ISBN4-938758-89-X.
- 24)‘Korean’
“Encyclopedia of Linguistics”PhilippStrazny (ed.). 2005.2. 2volumes. vol.1.
pp.579-584(総6頁). New York: Fitzroy Dearborn/ Routledge. ISBN1-57958-391-1
- 25)「まえがき」「大質問館」(連載)
『NHK テレビアンニョンハシムニカハングル講座』
2005年4月号—2006年3月号. 東京:日本放送出版協会.
- 26)「15位占める大言語, 話し手は7千万人超:世界で息づく朝鮮語——もはや朝鮮半島だけの言葉ではない」『イオ』2006年3月号. p.10. 東京:朝鮮新報社.
- 28)『『エスペラント日本語辞典』の快樂』
『エスペラント LaRevuO Orienta』2006年. 東京:日本エスペラント学会
- 29)「書物をつくる——ことばを学び=教えるために」
『月刊言語』2007年10月号. pp.6-7. 東京:大修館書店
- 30)「韓国語, 私の原点」
『韓国語ジャーナル』2009年冬, 27号. 2009年1月19日. pp.16-17. 東京:アルク
- 31)「ハングルという文字から普遍を問う」
『月刊百科』. 2010年7月号. pp.4-5.東京:平凡社
- 32)「ハングルの誕生——音(おん)から文字を創る」(講演抄録)『日韓文化交流基金 NEWS』. no.56. 2010年12月28日号. pp.6-7. 東京:日韓文化交流基金
- 33)「〈文字〉という奇跡」
『週刊読書人』. 2011年1月7日号
- 34)「嬉しい韓国語」
『月刊百科』. 2011年1月号. vol.579. pp.4-5.東京:平凡社
- 35)「韓国語を楽しく学ぶために」
『エスペラント La Revuo Orienta』. 2011年4月1日. pp.20-21.東京:日本エスペラント学会
- 36)「韓国語をさらに楽しく学ぶために」
『エスペラント La Revuo Orienta』. 2011年5月1日. pp.18-19.東京:日本エスペラント学会
- 37)「韓国語をいよいよ楽しく学ぶために」
『エスペラント La Revuo Orienta』. 2011年6月1日. pp.18-19.東京:日本エスペラント学会
- 38)「ハングル——〈文字〉という奇跡:第4回「エスペラントの日」記念公開講演録」
『エスペラント LaRevuO Orienta』. 2011年11月1日. pp.17-19.東京:日本エスペラント学会
- 39)「ハングル誕生」「ハングルを採用したチアチア語」
『文字を楽しむ小事典』町田和彦編. pp.32-36,p.178. 東京:大修館書店
- 40)「訓民正音の誕生①②」『イオ』. 2012年5月号. 東京:朝鮮新報社

- 41)「東京外語会主催文化講演会」『東京外語会会報』No.125. pp.54-56. 2012年6月1日. 東京:東京外語会
- 42)「推薦図書カタログ 50」『韓国語ジャーナル』第42号. p.30. 2012年10月14日. 東京:アルク
- 43)「〈知〉の革命としての〈訓民正音〉」金両基監修『ビジュアル版楽しくわかる韓国の歴史 vol.1』. 2012年10月15日. pp.40-41. 東京:キネマ旬報社.
- 44)「韓日つなぐ手がかり, ともに創る試み」(『韓国・朝鮮の知を読む』を編む)『民団新聞』2013年8月15日. 8・15特集. 東京:民団新聞社.
- 45)「かんこくの, こえが, する」『어머니의 힘母の力』2013年10月. 東京:在日本大韓民国婦人会東京地方本部.
- 46)「後序談話論と文法論の、日本語と韓国語の新たな出会い」『談話論と文法論——日本語と韓国語をを照らす』金珍娥著. 2013年10月20日. pp.273-288. 東京:くろしお出版.
- 47)「知とハングルへの序章」『韓国・朝鮮の知を読む』野間秀樹編. 2014年2月20日. pp.562-586. 東京:クオン.
- 48)「머리글:한글을 언어화한다」(卷頭言:ハングルの言語化する). 『한글 새소식』(ハングル新消息). 535. 野間秀樹編. 2017年3月号. pp.2-3. ソウル:ハングル学会.
- 49)「問いとしての〈韓国・朝鮮の心を読む〉——後書きに代えて」『韓国・朝鮮の心を読む』, 野間秀樹編. 2025年3月25日. pp.496-505. 東京:クオン.

対談・インタビュー記事など

■4.対談・インタビュー記事など-----

- 『경향신문(京郷新聞)』2008年8月29日. 対談. ‘한글학회창립 100 돌기념대담’(ハングル学会創立百周年記念対談)(리의도교수와대담).
- 『民団新聞』8・15特集. 2010年8月15日
- 『東亜日報』2010年10月28日
- 『アジア時報』2010年11月号, 12月号. 東京:アジア調査会
- 『朝鮮新報』2011年2月18日
- 『東亜日報』「世界の中のハングルに出会う」2011年10月4日.
- 『Noblesse 노블레스』2012年3月号. ソウル
- 『북커 Booker』2012年. Issue14. ソウル:教保文庫
- 『京郷新聞』2012年6月1日. 「アルファベット・ロードの終着地〈ハングル〉は、東方の極に現れたエクリチュールの奇跡」
- 『朝鮮日報』2013年6月12日. 「韓日 지식인 120 명에게 물었다: 한국의 藝는 인정한다. 한국의 知에는 뭐가 있나」(韓日知識人 120名に問う:韓国の藝は認める. 韓国の知は何があるのか?)
- 『中央日報』2013年6月14日. 「친구야, 한일 지성의 만화경 [萬華鏡] 우리 손으로 펼쳐보자」(友よ, 韓日知性の万華鏡, 我等が手で創ろう)
- 『navernews』2013年6月14日. 「'한글의 탄생' 노마히데키, 한국의 知 찾아 나섰다, 왜?」(『ハングルの誕生』の野間秀樹, 韓国の知を求め——何故に?)
- 『한겨레』(ハンギョレ新聞) 2013年6月14日.
「한·일 지식인 120 명, 한국의 지식 세계 훑는다」(韓日の知識人 120名, 韓国の知識世界を挟り出す)
- “Azalea: Journal of Korean Literature & Culture” ‘Conversation on East Asian Civilization, Past and Present,’ By Kim Uchang and Karatani Kojin, Moderated by Noma Hideki,

- Translated by Jeon Seung-Hee, Editor-in-Chief: Young-Jun Lee, Korea Institute, Harvard University, 2014, pp.163-191, ISSN1939-6120, ISBN978-0-9886928-2-4
- 『中日新聞』2014年8月1日夕刊, 『東京新聞』2014年8月3日朝刊. 「あの人に迫る:野間秀樹——言葉を学ぶとは互いが近づく道」
- 『聯合ニュース』2014年10月8日, 「"知的 최전선"에서 만난 한국의 지 모으고 싶었다" '한국의 지를 읽다' 번역 출간한 노마 히데키 교수」(知の最前線で出会った韓国の知を集めたかった. 『韓国・朝鮮の知を読む』を翻訳刊行した野間秀樹教授)
- 『中央日報』米州版. Korea Daily 뉴스 「훈민정음의 탄생은 혁명의 출발—— 한글학자 노마 히데키」 (訓民正音の誕生は革命の出発——ハングル学者野間秀樹) 2015年9月24日米州版30面.
- 『朝鮮日報』2017年3月6日. 「[최보식이 만난 사람]"거대한 량과 속도 로 다가오는 언어... 그 앞에서 우린 '무장해제'됐다"」(チェ・ボンクが出会った人: 巨大な量と速度でやって来る言語——その前で私たちは“武装解除”されている)
- 『한겨레』 (한겨레新聞) 2022年10月19日. 「“한글은 ‘과학적 문자’ 그 이상... 케이팝은 새로운 ‘우주 아트’ 창조“」(ハングルは「科学的文字」それ以上...K-POPは新たな「宇宙のアート」)
- 『毎日新聞』2022年11月28日. 「特集ワイド なぜ BTS に魂が震えるのか? 言語学者・野間秀樹さん、新刊「K-POP 原論」で解き明かす」
- 『新東亜』2025年11月号. [한·일 수교 60주년 | 인터뷰] 한글과 K-팝 전문가 노마 히데키 (韓日修好60周年インタビュー. ハングルとK-popの専門家・野間秀樹). 허문명 (ホ・ムンミョン) 記者執筆.
- 『文化日報』対談インタビュー. 金承福クオン代表と. 「한일수교 60년 대화」(韓日修好60周年對話). 2026年12月16日. 신재우記者執筆.

学会発表・講演など

■ 5. 学会発表・講演-----

■ 5.1. 学会発表-----

- 1) 「〈ssista〉・〈ppalta〉, 〈洗う〉等 ey 對 haye ——日本語와의 對照로 본 朝鮮語 動詞의 意味와 用法에 對한 考察」第15回朝鮮語研究会. 1984年12月17日. 東京:東京外国語大学
- 2) 「keyss の研究について」第31回朝鮮語研究会. 1986年11月17日. 東京:拓殖大学.
- 3) 「〈hakeyssta〉の研究 —— 現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」第36回朝鮮語研究会. 1987年6月30日. 東京:東京外国語大学
- 4) 「〈하짚다 hakeyssta〉の研究 —— 現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」第39回朝鮮学会大会. 1988年10月2日. 天理:天理大学
- 5) 「朝鮮語の教科書・学習書について ——『길 朝鮮語への道』と『朝鮮語の本』の場合を中心に」第56回朝鮮語研究会. (伊藤英人と共同発表)1989年7月18日. 東京:神田外語学院
- 6) 「朝鮮語の名詞分類」第40回朝鮮学会大会. 1989年10月8日. 天理:天理大学
- 7) 「李孝石の文体を読む——レトリックの花咲く頃」朝鮮文学研究会. 1990年3月10日. 東京:東京外国語大学
- 8) 「朝鮮語のオノマトペ」第2回アジア語研究会. 1990年3月30日. 東京:学習院大学
- 9) 「現代朝鮮語の対格語尾-lul/-ul の統辞論」第90回朝鮮語研究会. 1990年10月27日. 東京:神田外語学院
- 10) 「最近刊行された辞書について——用例・単語結合をめぐって」第98回朝鮮語研究会. 1993年7月6日. 東京:神田外語学院

- 11) 「故志部昭平博士の業績について」第 99・100 回朝鮮語研究会記念大会。(浜之上幸と共同発表)
1993 年 9 月 25 日. 東京:東京外国語大学
- 12) 「現代朝鮮語の接続形-다가について」第 99・100 回朝鮮語研究会記念大会. 1993 年 9 月 25 日.
東京:東京外国語大学
- 13) 「現代朝鮮語の体言分類と用言分類の方法」1993 年度日本語教育研究連絡協議会報告. 1993 年
12 月 4 日. 東京:国立国語研究所
- 14) 「現代韓國語의 對格과 動詞의
統辭論」第 20 回韓國国語学会共同研究会. 1993 年 12 月 17 日. 韓國城南:韓國精神文化研究
院
- 15) 「현대한국어의 連體形 과 예 대하여」The Second Pacific Basin International Conference
on Korean Studies 第 2 回韓國学環太平洋國際會議 言語学部会. 1994 年 7 月 27 日. 東京:
神田外語学院
- 16) 「朝鮮語の文の構造について」国立国語研究所公開研究発表会. 1995 年 12 月 9 日 東京:国立国
語研究所
- 17) '외국에서의 한국어학 현황과 전망' (外国における朝鮮学の現況と展望)
제 3 회 동아시아 국제 학술 심포지엄 (第 3 回 東アジア國際學術シンポジウム)
1996 年 ソウル:프레스센터
- 18) '한국어 문장의 계층구조에 대하여' (朝鮮語の文の階層構造について)
ソウル:韓國言語学会 夏季學術大会 1996 年
- 19) "일본어 화자의 한국어 학습에 나타나는 발음상의 제문제— phonemic unit '와 prosody,
특히 pitch 에 대하여' (日本語話者の朝鮮語學習に現れる発音上の諸問題—phonemic unit
と prosody, とりわけピッチについて)
“SICOPS '96 : The First Seoul International Conference on Phonetic Sciences”
(第 1 回ソウル國際音声学學術大会) ソウル:大韓音声学會 1996 年 10 月
- 20) '문법 연구의 방법: 현대 한국어 문법 연구의 현단계'
(文法研究の方法:現代朝鮮語文法研究の現段階)
ソウル:ソウル大学校韓國文化研究所 1996 年 12 月 11 日
- 21) '한국어 문장의 계층구조와 관형절 구조' (朝鮮語の文の階層構造と冠形節構造)
ソウル:ソウル大学校語学研究所第 149 回 語学セミナー 1997 年 2 月 18 日
- 22) '문법의 방법' (文法の方法) 大邱:嶺南大学校 民族文化研究所 1997 年 1 月
- 23) 「韓國報告といくつかの発表論文について」
第 138 回朝鮮語研究会 1997 年 9 月 30 日. 東京:神田外語学院
- 24) 「韓國語教育の諸問題」 2001 年 3 月 9 日 筑波大学
- 25) "일본에서의 한국어 교육"(日本における韓國語教育)
第 11 回 國際韓國語教育学会(IAKLE) 國際學術會議 -言語圈別の韓國語教育- 主題発表
ソウル:高麗大学校仁村記念館 2001 年 8 月 11 日・12 日
- 26) '한국어 단어결합론의 심화를 위하여'(韓國語單語結合論の深化のために)
ソウル:國語學會. 2001 年 12 月.
- 28) "When Words Form Sentences: Linguistic Field Theory -- From Morphology through
Morpho-Syntax to Supra-Morpho-Syntax" 2003 年 11 月 28 日-29 日. 形態論國際ワークシ
ョップ. ソウル:ソウル市立大学.
- 29) "한국어의 분석적인 형태에 대하여" 2003 年 11 月 28 日-29 日.
形態論國際ワークショップ. ソウル:ソウル市立大学.
- 30) 「現代朝鮮語の丁寧化のマーカ―yo/iyo」について」
第 212 回朝鮮語研究会. 2005 年 12 月 26 日. 東京:東京大学.
- 31) 「일본에서의 한국어 연구— 현대 한국어 문법 연구를 중심으로」

- International Conference Commemorating the 60th Anniversary of SNU and the 230th Anniversary of the Kyujanggak Archive
ソウル大学校ホアムコンベンションセンター. 2006年6月1日.
- 32) 「韓国語教育のアイデンティティ定立のために」主題討論. 第17回国際韓国語教育学会国際学術大会. 2007年8月12日. ソウル: 延世大学校
- 33) 「現代朝鮮語研究の新たな視座: 〈言語はいかに在るか〉という問いから——言語研究と言語教育のために——」. 第59回朝鮮学会大会公開講演. 柏: 麗澤大学.
- 34) ‘대우표현과 대우법—— 몇 가지 시각’(待遇表現と待遇法). 제4회 배재대학교 한국어교육 국제학술대회, 2008 日韓韓国語教育国際学術大会. 柏: 麗澤大学
- 35) 日韓言語学者会議. 2010年11月12日-13日. 柏: 麗澤大学
- 36) 招待講演「한글의 탄생: 知의 혁명」第3回海外碩学講義. 2012年2月6日.
인하대학교(仁荷大学校) BK21 동아시아 한국학 사업단(東アジア韓国学事業団)
主催. 仁川: 仁荷大学校 5남 136호.
- 37) 「現代韓国語研究の焦点」. 講演. 藤本幸夫教授御退休記念シンポジウム「朝鮮文化研究の成果と可能性」. 2012年2月25日. 柏: 廣池千九郎記念講堂. 麗澤大学
- 38) 第7回海外学者招請講演「한글의 탄생: 문자라는 기적」2012年5月30日.
연세대학교(延世大学校) 人文学研究院 HK 文字研究事業団主催. ソウル: 延世大学校
외솔관 526호.
- 39) 第3回日中韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム基調講演「対照言語学的視座と言語教育」.
2013年8月20日. 中国延吉: 延辺大学
- 40) 釜山大学校人文学研究所招請講演「지의 원리론으로서의 한글」(知の原理論としてのハングル). 2014年10月8日. 釜山大学校人文学研究所主催. 釜山: 釜山大学校인덕관.
- 41) 外国語教育学会 2014年度シンポジウム「外国語教育における学習者のニーズと動機づけ」.
「言語学習＝言語教育としての朝鮮語教育: 学習者の「ニーズ」と「動機づけ」を超えて」
2015年3月14日. 東京学芸大学 S2013 教室.
- 42) 延世大学校文科大学 100周年記念学術大会「석학과 함께 인문정신을 논하다」(碩学と共に人文精神を論ず). 招待講演「인문언어학을 위하여—언어존재론이 묻는, 살아가기 위한 언어」(人文言語学のために——言語存在論が問う, 生きるための言語). 2015年5月22日. 延世大学校文科大学 100周年記念ホール.
- 43) 延世大学校言語情報研究院招請講演「언어존재론에서 한국어와 한국어 교육을 비추다」
(言語存在論から韓国語と韓国語教育を照らす). 2015年5月23日. 延世大学校 외솔관
(ウエソル館) 526号.
- 44) 類型学研究会招待発表「日本語と韓国語＝朝鮮語」. 2015年11月21日予定. 専修大学神田
校舎7号館 784教室.
- 45) 訓民正音頒布 579周年記念 仏教とハングル, 韓国語 国際学術大会「한글의 탄생과 불교사상의 언어」(ハングルの誕生と仏教思想の言語). 招待主題発表. 主催: 延世大学校言語
情報研究院, 世宗大王記念事業会, 韓国禪学会. 2016年8月18日. ハングル博物館.
- 46) 招待講演 “La naskiĝo de Hangulo kaj la intelekta revolucio” (ハングルの誕生と知の
革命). Prelego -- Universala Kongreso 2017, Seulo. (2017 世界エスペラント大
会). 2017年7月28日. ソウル: 韓国外国語大学. (エスペラントによる)
- 47) 招待発表 「21세기형 종합 예술 (Gesamtkunstwerk)로서의 K-POP 혹은 K 아트」
(21世紀型総合芸術としての K-POP あるいは K アート). 21st International Conferen
ce Korea Culture Technology Institute(KCTI) “Convergence and Communication of
Culture and Art in a Global Environment” 主催: 檀国大学校韓国文化技術研究所. 20
23年2月2日. 東京: チェッコリ

■ 5.2. 韓国語教育関連学会発表と講演-----

- 「朝鮮語教育のカリキュラムについて——東京外国語大学の場合——」第44回朝鮮学会第1回朝鮮語教育報告会. 1993年10月3日. 天理:天理大学
- "일본어 모어화자 학습자를 위한 한국어 기초 학습 어휘 선정과 제시방법에 대하여"
(日本語母語話者学習者のための韓国語基礎学習語彙選定と提示方法について)
第2回 韓国語教育 国際ワークショップ「韓国語教育と学習辞典」
主催:延世大学校言語情報開発研究院. 2001年11月16日. ソウル:延世大学校 新商大
- ‘일본 대학 대학원의 한국어 교육’(日本の大学の大学院における韓国語教育)
2003年8月9日. 제13회 국제한국어교육학회 국제학술대회(第13回国際韓国語教育学会 IAKLE 国際学術大会). ソウル:ソウル大学校.
- "일본어 화자를 대상으로한 한국어 교육의 새로운 방향"
(日本語話者を対象にした韓国語教科書の新たな方向)
2004年8月14-15日. 国際韓国語教育学会第14回国際学術大会. 企画討論.
ソウル:祥明大学校ミレニアム館国際会議室.
- 主任講師:韓国語教師研修. 2004年8月23日-27日. 韓国大使館韓国文化院主催. 東京:国際文化フォーラム. 担当講義:「序論:日本における韓国語教育の現在」「教材論:いかに選ぶか, いかに作るか」「文法 II:用言の活用と形を教えるために」「教育実習ワークショップ」「教育実習」
- 「NHK(일본방송협회) 텔레비전 교육 방송을 통한 한국어 교육」
(NHK(日本放送協会)テレビ教育放送による韓国語教育)(金珍娥と共同発表)
2005年8月6日. 国際韓国語教育学会第15回国際学術大会. ソウル:漢陽大学.
- 主任講師:韓国語教師研修. 2005年8月15日-19日. 国際文化フォーラム.
韓国大使館韓国文化院主催.
- 「일본 텔레비전 방송을 통한 한국어 교육의 시도—— 라디오 방송 교육과 WEB 기반 교육을 참조하면서——」
(日本のテレビ放送による韓国語教育の試み——ラジオ放送教育とWEB基盤教育に照らして)
国際韓国(朝鮮)語言文学教育研究学術研討会議. 2005年10月1-3日. 上海:復旦大学.
- 対談「新しい時代の東北アジアと日本における韓国語教育」
専門家招請 第1回 韓国語教育フォーラム 韓・日 新時代と日本における韓国語教育
(原題韓国語). 2006年4月1日. 明治学院大学東京白金校舎. 韓国言語文化研究院主催.
- 講義「対照言語学」韓国言語文化研究院主催. 第1期韓国語教員養成課程. 2006年6月22-23日. 東京:国際文化フォーラム.
- 主任講師:韓国大使館韓国文化院主催. 第3回韓国語教師研修. 2006年8月14日-18日. 東京:国際文化フォーラム. 担当講義:韓国語教師研修序論. 用言の活用を教えるために:日韓対照用言活用論.
- 招待発表「韓国語教育の原理論としての対照言語学的接近——日本語と韓国語を中心に——」(韓国語) 2006年8月5日. 国際韓国語教育学会第16回国際学術大会. ソウル:成均館大学校 600周年記念館『韓国語 教授=学習方法論の再定立』pp.202-230
- 招待発表「日本における韓国語教育の諸問題」『修交40周年記念 日韓学術交流の現状と展望』第3回日韓人文社会科学学術会議. 2006年8月31日. 柏:麗澤大学.
- 主任講師:韓国大使館韓国文化院主催. 第4回韓国語教師研修. 2007年8月. 東京:工学院大学
- 講演「外国語教育のために——教師と教材が目指すもの」明治学院大学教養教育センター主催. 外国語教育に関わる研修会. 2007年3月. 明治学院大学.
- 招待講演 ‘언어를 배우는 <근거>는 어디에 있는가—— 한국어 교육의 시점——’. 한글 학회 창립 100돌 기념 국제 학술 대회. 서울: 건국대학교 신천년관. 2008년 8월 30일. 서울:

- 한글 학회「ことばを学ぶ(根拠)はどこにあるのか」(韓国語) ハングル学会創立 100 周年記念国際学術大会. 2008 年 8 月. ソウル:建国大学校
- 講義「ことばを学ぶ＝教えることを考える」「韓国語教材をいかに作り, いかに選ぶか」韓国語教師研修 2008. 2008 年 8 月 11 日. 大阪:大阪国際交流センター.
 - 招待発表「朝鮮語の教科書が目指すもの」. 2008 年 11 月 1 日. 外国語教育学会. 東京:東京学芸大学.
 - 講師「これからのコミュニケーション教育——〈話すこと〉と〈聞くこと〉」第 1 回駐日韓国文化院世宗学堂韓国語教師週末研修. 2011 年 6 月 5 日. 東京:駐日韓国大使館韓国文化院
 - 世界ハングル作家大会, 韓国語と韓国語教育セッション招待発表「일본어권의 한국어 교육에서」(日本語圏の韓国語教育から). 鮮語の教科書が目指すもの. 国際 PEN 韓国本部主催. 韓国文化体育観光部・慶尚北道・慶州市後援. 2015 年 9 月 16 日. 慶州和白コンベンションセンター.
 - 講演「ことばの学びに, 本当に大切なこと」. ブック・カフェ〈チェッコリ〉主催. 2015 年 10 月 16 日. 東京:チェッコリ
 - 公開講演「韓国語はなぜこんなに面白いのか」. なかのサクスフェスタ公開講座. 2015 年 11 月 7 日. 東京:早稲田大学エクステンションセンター中野校.
 - 招待講演 ‘언어존재론이 언어를 보다—— 언어학과 지(知)의 언어——’(言語存在論が言語を見る——言語学と知の言語). 제 3 회 경북대학교 국어국문학과 BK21 사업단 국제학술대회. 2016 年 11 月 17 日. 대구: 경북대학교 대학원동(大邱:慶北大学校大学院棟)
 - 公開講座「感動の韓国語をいかに学ぶか」. 2018 年 3 月 14 日. 東京:早稲田大学エクステンションセンター中野校.
 - 発表「훈민정음의 사상과 조형, 그리고 한국어와 한글의 지금」(『訓民正音』の思想と造形, そして韓国語とハングルの今) ‘하늘(・), 땅(一), 사람(一) 그리고 박물관: 지구환경과 언어 다양성을 위하여. 2024 年 국제박물관포럼 (2024 年第 2 回国際博物館フォーラム). 2024 年 10 月 11 日. 서울: 국립한글박물관 (ソウル: 国立ハングル博物館)
 - 韓国語教師会講演「韓国語教育のために」. 2025 年 1 月 25 日. 東京:明治学院大学
 - 講演「生きるための言語」. 2025 年 4 月 5 日. 東京外語学院主催. オンライン講演.
 - 基調講演「「生きるための言語 —多元主義と複言語主義から言語教育＝言語学習を照らす—」. 2025 年 3 月 9 日. 東京:上智大学四谷キャンパス 6 号館. 一般社団法人日本外国語教育推進機構 (JACTFL), 上智大学国際言語情報研究所 (SOLIFIC)主催. 文部科学省, 外務省, 東京都教育委員会後援.
 - 国際フォーラム発表 ‘문학을 고립시키지 않는 지적 영위를 향하여’(文学を孤立させない知的営みに向けて). 포스트 노벨 시대 한국문학 해외 진출 활성화 방안. (Strategies for fostering the Global Expansion of Korean Literature) 한국문학번역원 주최. (韓国文学翻訳院 LTI 主催) 2025 年 7 月 3 日. 서울: 연세대학교 백양누리 그랜드볼룸 (ソウル: 延世大学校).
 - 韓国語教師会講演「韓国語教育のために」. 2026 年 1 月 24 日. 東京:明治学院大学

■ 5.3.一般講演(2010 年以降)-----

- 講演「ハングルの誕生」日韓文化交流基金主催. 2010 年 9 月 24 日. 東京:日韓文化交流基金
- 講演「ハングルの世界」駐日韓国大使館韓国文化院・韓国国際交流財団主催, 駐日韓国文化院世宗学堂共催. 2010 年 10 月 20 日. 東京:韓国文化院
- 特別講義「ハングル——〈知〉の革命」駐日韓国教育院主催. 2010 年 12 月 18 日. 東京:東京大学
- 講演「〈ハングルの誕生〉から」韓国国立国語院院内討論会. 2011 年 4 月 25 日. ソウル:国立国語院

- 講座「ハンゲルの誕生:奇跡の〈文字〉・〈文字〉という奇跡」朝日カルチャーセンター・朝日 JTB 文化交流塾. 2011年6月4日. 横浜:朝日カルチャーセンター
- 講演「ハンゲル:〈文字〉という奇跡」日本エスペラント学会主催「エスペラントの日」記念公開講演会. 2011年6月11日. 東京:日本エスペラント学会
- 講演「ハンゲルの誕生:〈知〉の革命」異文化相互理解事業講演会. 宝塚市, 宝塚市国際交流協会, 宝塚市外国人市民文化交流協会主催. 2012年2月28日. 宝塚:宝塚市立文化施設ベガ・ホール
- 講演「ハンゲルの誕生:〈知〉の革命」文化講演会. 東京外語会主催. 2012年3月10日. 東京:東京外国語大学本郷サテライト
- 講座「ハンゲルの誕生:〈知〉の革命」朝日カルチャーセンター・朝日 JTB 文化交流塾. 2012年7月21日. 川西:朝日カルチャーセンター
- 講演「ハンゲルの誕生——〈知〉の革命」ハンゲルの日特別記念講演会. 駐大阪韓国文化院・世宗学堂主催. 2012年10月13日. 大阪:駐大阪韓国文化院ヌリホール.
- 講演「한글의 탄생(ハンゲルの誕生)」. 周時経^{チュ・シギン}学術賞受賞記念講演. 한글학회 (ハンゲル学会)主催. ソウル:ハンゲル学会
- 講演「ハンゲルの誕生——〈知〉の革命」マルマダン 5周年記念講演会. 2013年3月31日. 名古屋:東天紅名古屋店.
- 講演「ハンゲルの魅力」2013年10月9日. 東京:駐日韓国文化院ハンマダンホール.
- 講演「韓国・朝鮮の知を読む」2013年11月16日. 横浜:朝日カルチャーセンター・朝日・JTB 交流文化塾横浜教室.
- 講座「街場のハンゲル:ことばと心で近づく韓国文化, 大志入門編」2014年4月12, 19, 26日, 5月10, 17日. 東京:早稲田大学エクステンションセンター中野校.
- 講演「ハンゲル——知の物語を共にする」2014年4月26日. 練馬区主催, 大韓民国大使館共催. 東京:練馬区役所アトリウム.
- 講演「ハンゲル, 開かれた世界へ——エクリチュールの奇跡」2014年6月18日. 東京:朝鮮大学校.
- 講座「韓国語＝朝鮮語と日本語、ことばから共生を考える:核心編」2014年7月12, 19, 26日, 8月2日. 東京:早稲田大学エクステンションセンター中野校.
- 講演「지와 한글——한국의 지를 읽다」(知とハンゲル——韓国の知を読む). 2014年10月7日. 파주북소리(Paju BookSori)主催. 韓国坡州:出版都市アジア出版文化情報センター.
- 講演「한글——음의 형태, 지의 신체」(ハンゲル——音の形態, 知の身体). 2014年10月7日. 산돌커뮤니케이션, 위즈덤하우스主催. ソウル:弘益大大学路アートセンター.
- 講演「ハンゲルの誕生」. 多摩美術大学生涯学習センター連続講座「世紀を歩く——美術と文化:15世紀」. 2015年1月31日. 世田谷区中町ふれあいホール.
- 講座「ハンゲルから照らす日本語」. 朝日カルチャーセンター/朝日 JTB・交流文化塾主催. 2015年4月18日・25日. 東京新宿朝日カルチャーセンター新宿教室.
- 講演「韓国・朝鮮の知を読む——刻されたことばたち」. 東京国際ブックフェア TIBF2015. 日韓修好50周年イベント. 日本書籍出版協会・大韓出版文化協会主催. 2015年7月4日. 東京ビックサイト会議棟 610号.
- 講演「こころからことばへ ことばからこころへ——日本語と韓国語の世界から——」. 福島韓国青少年交流プログラム. 日韓国交正常化 50周年記念講演会 NPO 法人ふくかんねっと主催. 福島県・福島県教育委員会・福島市・公益法人福島県国際交流協会・福島市国際交流協会後援. 2015年8月23日. 福島県青少年会館大研修室.
- 講演「한글의 탄생과 발전을 언어의 원리론에서 보다」(ハンゲルの誕生と発展を言語の原理論から見る). 世界ハンゲル作家大会特別講演. 国際 PEN 韓国本部主催. 韓国文化体育観光部・慶尚北道・慶州市後援. 2015年9月16日. 慶州和白コンベンションセンター.

- 講演「ハンゲルの世界——奇跡の〈文字〉そして〈知〉の革命」. ハンゲルの日特別講演. 駐札幌大韓民国総領事館主催. 北海道・札幌市・在日本大韓国民団北海道地方本部後援. 2015年10月6日. ロイトン札幌エンプレスホール.
- 講演「ことばを問う——言語存在論が照らす, 生きるための言語」. 明治学院大学教養教育センター公開講演会. 明治学院大学教養教育センター主催. 2015年11月13日. 明治学院大学白金校舎2号館2302教室.
- 講演「ハンゲル——進撃の知」. 明治学院大学教養教育センター公開講演会. 明治学院大学教養教育センター主催. 2015年12月11日. 明治学院大学白金校舎2号館2302教室.
- 講演「ハンゲルからの出発——訓民正音とハンゲルの知に学ぶ」. ブック・カフェ〈チェッコリ〉主催. 2016年2月19日. 東京:チェッコリ
- 講演「ハンゲルからの展開——訓民正音と知と共に飛翔せん」. ブック・カフェ〈チェッコリ〉主催. 2016年3月18日. 東京:チェッコリ
- 講演「韓国語はこう学びたい! ——入門初級者のための, 楽しく, できるようになる究極奥義」. ブック・カフェ〈チェッコリ〉主催. 2016年4月8日. 東京:チェッコリ
- 講演「韓国語から日本語を照らすⅠ——総論, 文字と発音, 語彙を見る」. ブック・カフェ〈チェッコリ〉主催. 2016年5月27日. 東京:チェッコリ
- 講演「韓国語から日本語を照らすⅡ——文法と表現のありようを見る」. ブック・カフェ〈チェッコリ〉主催. 2016年6月10日. 東京:チェッコリ
- 講演「ことばに生きる私たち, ことばに学ぶ私たち——韓国語=朝鮮語と日本語と, そして書物と」. ブック・カフェ〈チェッコリ〉1周年記念講演. 2016年7月8日. 東京:東京堂書店東京堂ホール
- 講演「언어를 살아가기 위하여——언어존재론이 묻는, <쓰다>는 것」(言語を生きるために——言語存在論が問う, 〈書く〉ということ). 2016年9月21日. 慶州:慶州和白コンベンションセンター.
「하늘과 땅 사이의 언어 그리고 문자——훈민정음 혹은 <쓰기>의 기원」(天地の間の言語そして文字——訓民正音あるいは〈書く〉ことの起源). 2016年9月21日. 慶州:東国大学慶州キャンパス100周年記念館.
世界ハンゲル作家大会特別講演. 国際PEN韓国本部主催. 韓国文化体育観光部・慶尚北道・慶州市後援.
- 講演「今, ことばにとって大切なこと——言語を生きるために」. ブック・カフェ〈チェッコリ〉主催. 2016年11月1日. 東京:神田古書センター「ほんのまち」
- 講演「ハンゲルの知的世界——日本語も見える, ことばと文字からの接近」. 駐札幌大韓民国総領事館主催特別講演. 2017年5月22日. ロイトン札幌ロイトンホール.
- 講演「思想の粒とハンゲル——〈話されたことば〉と〈書かれたことば〉が形になるとき」. ブック・カフェ〈チェッコリ〉主催. 2017年9月22日. 東京:チェッコリ
- 講演「ハンゲルから韓国文化を学ぶ——ことばと文字から照らす世界」. 駐横浜大韓民国総領事館主催特別講演. 2017年10月30日. 横浜:横浜情報文化センター.
- 講演「言語と文字——日本語と韓国語から」. 筑波技術大学産業技術学部総合デザイン学科主催. 2017年12月1日. つくば:筑波技術大学.
- 講演「ハンゲルから韓国文化を学ぶ」. 新宿区立北新宿図書館主催. 2018年1月27日. 東京:北新宿生涯学習館.
- 講義「ハンゲルの誕生:知の革命」. 朝日カルチャーセンター立川教室主催. 2018年2月24日. 立川:朝日カルチャーセンター立川教室.
- 対談「言語からの応答:『言語 この希望に満ちたもの』(北海道大学出版会)『新版 ハンゲルの誕生』(平凡社)W刊行記念. 辻野裕紀氏との対談. 2022年1月12日. 東京:本屋B&B. リアルタイム＋アーカイブ配信.

- 対談「알라딘 랜선 북토크 《한글의 탄생》」 니카미 유리예(二上ゆりえ)氏との対談. online. 2022 年 11 月 10 日.
- セミナー発表「지적·미적 혁명으로서의 한글의 탄생」(知的·美的革命としてのハングルの誕生) 제 578 돌 한글날 기념 세미나 《한글의 비전》(578 周年ハングルの日記念セミナー〈ハングルのビジョン〉). 韓国フォント協会主催. 2022 年 11 月 10 日. 서울: 디자인하우스 모이소갤러리. (디자인하우스모이소갤러리).
- 映像発表 “K”란 무엇인가: 앞으로의 K 아트를 위하여’ (“K”とは何か:これからの K アートのために). 제 14 차 한류 NOW 정기세미나 (第 4 回韓流 NOW 定期セミナー). 2024 年 12 월 18 日. 서울: 콘래드 서울
- ブックトーク ‘한국의 마음을 읽다’ (『韓国・朝鮮の心を読む』). 2025 年 7 월 4 日. 서울: 최인아서점 (ソウル: 崔仁阿書店).
- ブックトーク ‘K-POP 원론’ (『K-POP 原論』). 서울시립미술관 아카이브 북토크 (ソウル 市立美術館アーカイブブックトーク). 2025 年 7 월 5 日. 서울 서울시립미술관 아카이브 (ソウル: ソウル市立美術館アーカイブ)
- ブックトーク “K-POP 원론” 앞으로의 K 아트를 위하여’ (『K-POP 原論』:これからの K 아트のために). 2025 年 7 월 6 日. 서울: 무사서점 (소울: 무사書店).

公的資金による研究

■ 6. 文部科学省科研費／公的資金による研究課題(研究代表者)-----

- 朝鮮語と日本語の自動翻訳研究基礎資料の構築と公開. 2000 年－2001 年. 科学研究費基盤研究 (C). 課題番号:12610543. 3,247,000 円
- 日本語と韓国語の非対称構造に関する基礎研究. 2007 年－2008 年. 科学研究費基盤研究(C). 課題番号:19520331. 3,510,000 円
- 韓国国際交流財団 Fellow. 1996 年.

現代美術の分野における活動

■ 7. 現代美術分野における活動 -----

1976 年-1980 年に 8 回の個展, 1976 年-1986 年に東京, 横浜, 京都, 神戸, ソウル, プラハ, オ스트ラバ, ワルシャワ, ポズナニなどで計 39 回の美術 展に出品. 1977 年第 13 回現代日本美術展佳作賞受賞, 1979 年第 6 回英国ブラッドフォード国際版画ビエンナーレ展, 1979 年大邱現代美術展, 1979 年第 13 回リュブリアナ国際版画ビエンナーレ展など. 詳細は下記.

個展:

- 1977: Sato Gallery (Tokyo)
- 1977: Muramatsu Gallery (Tokyo)
- 1978: Lunami Gallery (Tokyo)
- 1978: Sato Gallery (Tokyo)
- 1978: Maki Gallery (Tokyo)
- 1979: Muramatsu Gallery (Tokyo)
- 1980: Maki Gallery (Tokyo)
- 1980: NDA Gallery (Sapporo)

書籍:

- 1983: "Dance of Silence: Sin Cha Hong" (Book, Photographs)
1998: "A Spiral Dancing for Freedom: Sin Cha Hong" Film-Art-Sya (Book, Photographs).
ISBN4-8459-9884-X

公募展・グループ展など

- 1971: Four-men Show, Yamada Gallery (Otaru, Hokkaido)
1971: Group Exhibition, Tokyo University of Education (Tokyo)
1971: Group Exhibition, Waseda University (Tokyo)
1973: Film Show, Ochanomizu Women's University (Tokyo) 1975: Group Exhibition, Gallery
JOINT (Tokyo)
1976: Group Exhibition, Ginza Meiji Gallery (Tokyo)
1976: 12th Contemporary Art Exhibition of Japan, Tokyo Metropolitan Museum (Tokyo)
1976: 2nd Independent Exhibition of Prints in Kanagawa, Kanagawa Prefectural Gallery
(Yokohama)
1976: 2nd Tokyo Art Show, Tokyo Metropolitan Museum (Tokyo)
1977: Exhibition "Delay on Spiral", Kanagawa Prefectural Gallery (Yokohama)
1977: "Art as Photography, Photography as Art", Hamanoya Gallery, (Tokyo)
1977: Kyoto Independent Exhibition, Kyoto City Museum (Kyoto)
1977: 13th Contemporary Art Exhibition of Japan, Awarded Prize for Excellent Work, Tokyo
Metropolitan Museum (Tokyo, Kyoto)
1977: Exhibition '77 "KIZASHI -- Omen", Kanagawa Prefectural Gallery (Yokohama)
1977: "Works in September", Shirakaba Gallery (Tokyo)
1977: A Small Self-Portrait (Mail Art Project by Duck-Jun Kwak) (Kyoto)
1977: 3rd Independent Exhibition of Prints in Kanagawa, Kanagawa Prefectural Gallery
(Yokohama)
1977: "BIG EVENT '77 -- We will not finish it as an EVENT", Kobayashi Gallery (Tokyo)
1978: "The Affair of Photography", Hamanoya Gallery (Tokyo)
1978: Kyoto Independent, Kyoto City Museum (Kyoto)
1978: Exhibition "Spiral", Kanagawa Prefectural Gallery (Yokohama)
1978: Exhibition '78 "KIZASHI -- Omen", Kanagawa Prefectural Gallery (Yokohama)
1978: 4th Independent Exhibition of Prints in Kanagawa, Kanagawa Prefectural Gallery
(Yokohama)
1978: Exhibition "EXPERIENCE BOOK", Maki Gallery (Tokyo)
1979: 6th British International Print Biennale (Bradford, England)
1979: "7 Artists in Korea and Japan", Han-Kook Gallery (Seoul, Korea)
1979: participated in the Exhibition by Vlasta Cihakova-Noshiro, Ai Gallery (Tokyo)
1979: "Roots of Image", Gallery Westbeth (Nagoya)
1979: 5th Daegu Contemporary Art Festival (Daegu, Korea)
1979: 13th International Biennial of Graphic Art (Ljubljana, Yugoslavia)
1979: "Real Space", Tokiwa Gallery (Tokyo)
1979: "7 Artists of Korea and Japan", Maki Gallery (Tokyo)
1979: Exhibition "TIME", Gallery Kitano Circus (Kobe)
1980: "DROGA(way)" Wroclaw City Photo-Museum-Art, Gallery 2 (Katowice, Poland), Galeria
O.N. (Poznan', Poland)

1980: "Pictorial Vision" Kojima Gallery (Tokyo)

1981: "DROGA(way)" Stara Gallery (Warszawa, Poland)

1981: "Portrait, Still Life, Landscape in Photograph" Praha National Industrial Art Museum
(Praha, Czechoslovakia), Ostrava City Culture Centre (Ostrava, Czechoslovakia)

1982: 3rd "Messages of Sight" Kwanhun Museum (Seoul, Korea)

1986: "Art: A Dialogue on Peace" Okurayama Museum (Yokohama)

2020: "WORKS" Exhibition and Talk.Organized by Kokopelli 121. UrBANGUILD (Kyoto)

野間秀樹

2026年2月9日現在